

令和3年11月1日

保護者様

松戸市立牧野原中学校
校長 山内 康睦

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろから本校の教育活動にご理解、ご協力くださりありがとうございます。

さて、このたび、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果及び本校生徒の分析結果が出ましたので、お知らせします。

1. 全国学力・学習状況調査概要

本調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善をねらいとし、国語と数学で全国の中学校3年生を対象として、本年度5月27日（木）に実施されました。

調査の内容は、「教科に関する調査」と「生活習慣や学習環境等に関する調査」の二つに分けられます。「教科に関する調査」は、以下のように実施されました。

- ・国語、数学の2教科について調査を実施。出題範囲は、中学校2学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下の通りとなっている
- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

2. 今回の調査から（概要）

- [国語]
- ・「話すこと・聞くこと・読むこと、」の領域において県平均、全国平均を上回っています。
 - ・「書くこと・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において全国平均よりやや下回っていますが、ほぼ同等に近いです。
 - ・「話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える」問題では、全国平均よりも大幅に上回っているのので、普段の話合い活動を中心とした授業での成果が見えてきていると考えられます。
 - ・「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える」問題では、全国平均よりも下回っており、
- [数学]
- ・「数と式」の領域において県平均よりも上回っており、全国平均とほぼ同等です。
 - ・「図形・関数・資料の活用」の領域において全国平均をやや下回っています。計算問題（連立方程式）の項目においては、県平均、全国平均を大きく上回っています。毎日の家庭学習の積み重ねが結果となってあらわれていると考えられます。
 - ・全問題の半数において、無解答率が全国平均よりも上回っています。問題の解き方がわからない時にあきらめずにいろいろな方法を考えることを意識できていない生徒が多くいることが考えられます。
- [生活面]
- ・学校に行くのは楽しいと回答している生徒が全国平均を上回っています。
 - ・朝食を毎日食べていると回答している生徒が全国平均を上回っています。

3. 今後の学校での指導に生かしたいこと

今回の調査分析で把握した課題の解決や更なる学力の向上に向けた授業改善・指導方法の工夫について、学校全体で取り組んでまいります。また、学習の習慣と併せて、基本的な生活習慣を重視していくことで気力・体力の充実に努め、様々な事に挑戦する基盤をつくりたいと思います。

4. その他

- (1) 良い生活習慣が学習の土台になります。早寝・早起き・朝ご飯の習慣を大切にするようご協力お願いします。
- (2) 学習や生活習慣等について気になることがありましたら、遠慮なく担任へご相談ください。
- (3) 本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、本校の教育活動の一側面であることをご理解くださるようお願い申し上げます。